

月別概況（令和2年）青果

1月

野菜

1kg当たり平均単価 200円

暖冬の影響により生育順調。鍋需要なく引き合い弱く、価格は安値低迷する。

果実

1kg当たり平均単価 328円

本年度みかんは裏年に当たるのと雑柑が暖冬の影響により、着色は遅延気味のため入荷減。しかし競合品目の林檎・苺等はますますの入荷で推移。全般的には入荷減の単価高で終了。

2月

野菜

1kg当たり平均単価 196円

暖冬の影響により前進出荷となり、鍋需要不振。

コロナの影響も有りイベント停止、一部の品目を除いて厳しい販売となる。

果実

1kg当たり平均単価 316円

新型コロナウイルスの影響が非常に懸念されたが、販売面においてスムーズな展開で推移。

全般に食味良好また、天候も順調に推移したことにより、数量・単価ともに前年並で終了。

3月

野菜

1kg当たり平均単価 222円

暖冬の影響により前進出荷となり、新型コロナウイルスの影響で休みとなったが、内職になり一部を除いて荷動き良く、引き合い強まり堅調に推移する。

果実

1kg当たり平均単価 359円

新型コロナウイルスの影響が非常に懸念されたが、彼岸需要もあり、また安定した天候にも恵まれ、一部高級品（メロン）等を除いては順調な販売で推移、全般には入荷増の単価高で終了。

4月

野菜

1kg当たり平均単価 210円

新型コロナウイルスの影響等で内食好調で量販店等の引き合い強いが、給食・飲食業務筋休みにより苦戦となる。

果実

1kg当たり平均単価 406円

新型コロナウイルス等に関連し、緊急事態宣言が発出されたことにより自粛ムードが漂いその為、メロン・マンゴ等の贈答用の高級果実が苦戦したものの、他のリンゴ・苺・柑橘等は順調な販売で推移、このことから入荷量においては減少したものの単価高で終了した。

5月

野菜

1kg当たり平均単価 228円

全般的に入荷量減少傾向コロナウイルスの影響で一部の品目を除き、内食の引き合い強く堅調に推移する。

果実

1kg当たり平均単価 409円

コロナ禍の影響により、贈答需要の減少もあり高単価の物については販売面が懸念されたが、天候の背景、内食の増加、また入荷減の品目もあったことから全般に順調な販売で推移し、入荷量ほぼ前年並の単価高で終了。

6月

野菜

1kg当たり平均単価 269円

全般的に入荷減少一部の品目を除いて、家庭内消費良好で引き合い強く高値で推移する。

果実

1kg当たり平均単価 399円

梅雨時期に入り天候の変化もなく、またコロナ等の影響も懸念されたが、まずは順調に推移した。その結果入荷量前年並、単価高で終了した。

7月

野菜

1kg当たり平均単価 329円

天候不順で全国的に日照時間少なく、長時間の長雨で品等高となる。

果実

1kg当たり平均単価 452円

コロナ禍、また長引く梅雨の影響が懸念されたが、中元需要・巣ごもり需要などにも助けられ入荷量も前年並を確保でき販売面も型右肩上がりで推移。全般的に入荷量前年並の単価高で終了した。

8月

野菜

1kg当たり平均単価 284円

7月の長雨と8月の高温干ばつで結球類が生育不足により品等高、7月平年の2倍の価格を超えた。人参・玉葱は産地が北海道に移り下旬には平年並の価格で推移。全般的（一部を除き）に高価格で推移する。

果実

1kg当たり平均単価 488円

本年度梅雨明けが7月30日と遅かったことから、各品目共、数量品質面において懸念され、また贈答需要も伸び悩むと思われたが、天候にも恵まれ全般には一部の品目を除いて単価高に助けられた形となり順調な販売で終了。

9月

野菜

1kg当たり平均単価 238円

先月から高値反動と増量により、結球類の下げは顕著だが全般的には、価格は前年をやや下回る。

果実

1kg当たり平均単価 477円

台風などの被害もなく、気象条件も順調に推移したことにより一部の品目（梨・西瓜）を除いては、まずまずの入荷量を確保でき顕著な販売であった。全般には入荷減の大幅な単価高で終了。今年においては高すぎたものが暴落しなかったのが大きな特徴といえる。

10月

野菜

1kg当たり平均単価 240円

結球類は入荷増で価格は下げたが、果菜類は気温定価日照不足で品等高となり、全般に一部商品を除いて単価高で推移する。

果実

1kg当たり平均単価 325円

天候等にも恵まれ順調に推移。GOTOキャンペーン等により巣ごもり需要が減少するかと懸念されたが、それほどの影響もなく入荷増の単価高で終了した。

11月

野菜

1kg当たり平均単価 213円

家庭内消費の増加と青果物の品薄が重なり価格は高値基準だったが、コロナ再拡大により業務需要停滞。家庭菜園も出回り荷動き悪く価格は下落する。

果実

1kg当たり平均単価 239円

GOTO支援対策により、業務等の需要は多少回復したものの、もう一つ伸び悩んだ形となり一部商品を除いては入荷減、単価安の物もあり、全般に入荷減の単価前年並みで終了した。

12月

野菜

1kg当たり平均単価 219円

各品目の生育順調で、新型コロナウイルスの感染拡大による業務需要低迷、暖冬による家庭での鍋物需要不振が影響し全般的に軟調な市況展開になる。

果実

1kg当たり平均単価 308円

コロナ禍の中GOTO支援策もあり、期待し望んだものの、忘年会等の中止により業務関係の需要も少なく、また贈答需要も伸び悩んだ形で推移し、全般には入荷量・単価共に前年よりやや右肩下がり。

